



## ■ 新年のご挨拶

名城病院院長 後藤 秀実

新年明けましておめでとうございます。皆様方にはご健康にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

一昨年から世界中に感染が拡大しておりますCOVID-19により、日本もこの2年間は他国同様に振り回されました。我が国では1年延期されました2020オリンピック・パラリンピックの開催に関して、種々の意見がある中、無観客にて開催されました。

しかし、その後にCOVID-19感染が拡大し、軽症・中等症の患者さんが病院にて十分な医療を受けられないという医療崩壊が起こり、医療人としてショックを受けました。さらに、患者さん登録などのCOVID-19関連にて、日本のデジタル化の遅れが明らかとなり、将来の医療へ大きな課題を残しました。このような状況もワクチン接種の加速化などにより、10月から11月にかけては新規陽性感染者が激減し、現在は落ち

着いていますが、欧米諸国では感染者の再増加が認められ、わが国でも三回目のワクチン接種が実施されつつあります。さらに、南アフリカからオミクロン株という感染力の強い変異ウイルスが報告され、不安な状況下で今年も始まります。

当院のCOVID-19感染に対する対応は、2020年8月より重点病院として患者さんを受け入れてきました。さらに2021年5月頃に名古屋の新規陽性患者さんが再度著増した為、6月に地域包括ケア病棟をCOVID-19病棟に転用し、今まで以上に患者さんを受け入れてきました。この地域包括病棟のCOVID-19病棟への転用では、皆様方にご迷惑をおかけしておりますが、COVID-19感染の収束が宣言されるまで、この体制を維持するつもりですので、非常事態と考えご理解下さい。

収束を願う一方で、収束後の名城病院の運営を考える必要があります。

ます。この2年間で患者さんの病院・クリニックに対する考え方が変わられたのではないかと危惧しています。これらを克服するために、当院のスローガンであります「高齢者に優しい病院」、「患者さん目線の病院」を今まで以上に徹底するとともに、疾病予防なども強化し、新しい名城病院の特徴を作ろうと検討しているところです。

本年もこの地域の患者さんの健康増進に貢献していく所存ですので、引き続きのご指導・ご支援をお願い申し上げます。



## 新入職医師の紹介

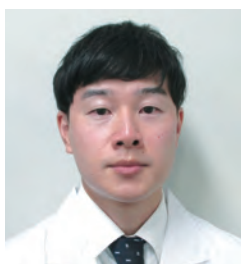


放射線診断科 部長

中村 篤史 なかむら あつし

1997年愛知医科大学卒業、愛知医科大学病院で研修、大学院医学研究科にて学位を取得しました。その後は西尾市民病院、名古屋城北放射線科クリニック、豊田厚生病院で勤務しておりました。

患者さんと接することは少ないですが、自分たちの仕事が患者さんに何らかの形で貢献していると信じて日々の診療にあたっています。微力ながら地域医療に貢献したいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



消化器内科 医師

藤本 諒 ふじもと りょう

消化器領域を中心に内科一般の診療にあたる所存です。地域の方々の健康に寄与したいと考えております。よろしくお願いいたします。

## 外科手術室を一新しました

外科主任部長 関 崇

2021年10月末、外科手術室へ様々な設備を導入しましたのでご紹介させていただきます。

① LED無影灯

術野の視認性が向上しました。



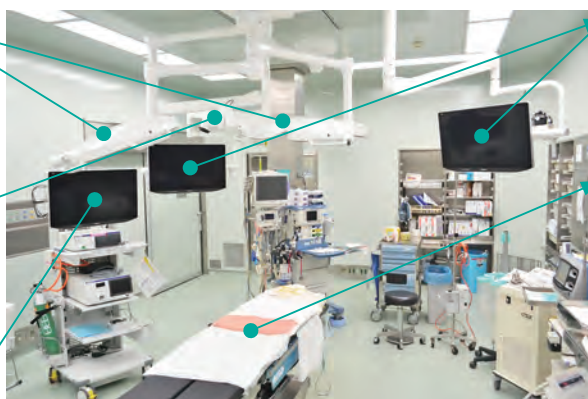
② 術野カメラ

開腹手術でも手術スタッフ全員で術野情報を共有できるようになりました。



③ 最新の腹腔鏡手術システム (OLYMPUS VISERA ELITE II)

4K画質でさらに精緻な腹腔鏡手術が可能となりました。



④ 天吊り4Kモニター

腹腔鏡手術に最適な手術環境が整いました。

⑤ 最新のハイスペック手術台 (MIZUHO MOT-VS700)

開腹・腹腔鏡手術における多様な手術体位に安全に対応できるようになりました。



今後も外科医ならびに手術室スタッフ一同、常に向上心をもって研鑽を重ね、チーム一丸となって、より安全で確実な手術を行っていきます。これからも名城病院外科をよろしくお願い申し上げます。

## 新しいCT装置が入りました

放射線部 谷戸 智美

昨年、Deep Learningを用いた最新技術のCT装置「Aquilion Prime SP i Edition」が導入されました。

Deep Learningは、昨今急速に進化を続けるAI（人工知能）を基盤とした重要な技術であり、従来の装置よりも大幅に被ばく線量を

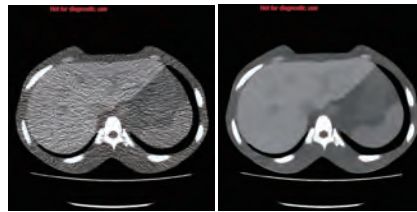
抑え、さらには高画質な画像を取得することが可能になりました。

患者さんやそのご家族のQOL（生活の質）向上への関心の高まりとともに、CTの果たす役割や、検査領域もますます広がりつつあります。また一方で、医療ニーズや診療科目の多様化・専門化も急速



に進んでいます。

当院の新しいCT装置は、そのようなニーズに応えられる最新鋭の技術を搭載しており、我々診療放射線技師は、一人一人の患者さんに最適な条件を考察し、可能な限り少ない被ばく線量・少ない造影剤量で最大限有益な情報を得られるよう、日々検証しながら画像の提供に努めています。



従来处理 人工知能処理  
同一線量下での画像比較

## 連載 輸血の歴史

「飲む血液」から、「血管へ輸血」する時代へ

検査部輸血管理室長 濱口 妙子  
認定輸血検査技師

前号（名城病院だより74号）では古代エジプトや古代ローマ時代の人々が、若返りや病気を治すために血液を飲用していたとお話ししました。コロンブスがアメリカ大陸を発見した15世紀になってもそれは続き、17世紀江戸時代初期によろやく“血液が体中を循環していること”や“毛細血管”が発見され、飲用されてきた血液を血管へ輸血する時代がやってきました。

1667年、最初に輸血したのはフランス国王の侍医デニで、貧血に苦しむ15歳の少年に子羊の血液を輸血して成功しました。動物の血液を人間に輸血するなんて、今では到底考えられませんが、まだ

人間の血液を人体に投与するという考えはありませんでした。最初の患者は成功したものの、その後副反応により死者を出し、デニは殺人罪に問われてしまいます。無罪にはなりましたが、この後150年以上輸血は禁止されてしまいました。

19世紀に入り、最初に人から人への輸血を行ったのはイギリスの産婦人科医ブランデルです。出産時に出血が止まらず死に瀕している産婦10数名に夫の血液を直接投与したものの、数人しか救命できず、輸血の成功率は極めて低いものだったようです。

こののち血液型の発見により救



Blundell's method of blood transfusion

命率は飛躍的に伸びますが、消毒の方法や血液を固まらせないようにする薬剤も開発されていないこの時代、助かるか助からないかは運任せだったようです。

次回は血液型の発見についてお話しさせていただきます。



## 郷土の味！ お雑煮

管理栄養士 高坂利一

名古屋といえば、派手好きで味噌が大好きと思われがちですが、名古屋地域のお雑煮は味噌仕立てではなく、角餅をひとつ、それに青菜と削り節をすまし汁でいただく、とてもシンプルなお雑煮です。

一説によると、かつおだしはハレの日のための上等なだしとされるため、日頃食していた味噌ではなく、お正月のお雑煮には特別な日としてかつおだしを用いたのではないかとされています。

お雑煮がシンプルな理由は、将軍徳川吉宗に華やかな食事を尾張藩



主の徳川宗春が叱られたためという説。徳川家康から続く質素儉約の武士文化が受け継がれているという説、もう一つは「名を(もち)上げる」「名(名古屋)を(もち)上げる」と縁起担ぎとして、餅と菜をかけたという説があるようです。

そのお雑煮に「ちょこん」と入っている青菜。

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、これは小松菜ではなく、餅菜(正月菜)と呼ばれ尾張地域で栽培されているものです。

餅菜は日持ちが悪いため、需要期に一部の農家のみで栽培され、小松菜より軟らかく甘味が



あり、アクが少ないのが特徴です。栄養素は小松菜同様カロテン、ビタミンC、ビタミンA、ビタミンB1が豊富で鉄分、カルシウムはほうれん草よりも豊富に含まれています。

太る冬？

こたつに入ってお餅ばかり食べていないで、体を動かし今年一年を元気に頑張りましょう。

(写真出典) 農林水産省 Web サイト [www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/k\\_ryouri/search\\_menu/menu/zoni\\_aichi.html](http://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/k_ryouri/search_menu/menu/zoni_aichi.html)



## 名城病院診療等のごあんない



### 診療科目

内科(消化器内科/呼吸器内科/腎臓内科/糖尿病・内分泌内科)、神経内科、循環器センター(循環器内科/胸部心臓血管外科)、外科、小児科・小児循環器科、整形外科・脊椎脊髄センター、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、脳神経外科、歯科口腔外科、麻酔科、放射線診療科



### 診療受付時間

新患 午前 8:30 ~ 11:30  
再来 午前 8:00 ~ 11:30



### 休診日

土・日・祝日・年末年始(12/29~1/3)



- ・ 時間外および休日の診療は救急外来にて受付しています。事前にお電話でご相談の上、お越しください。
- ・ 人間ドック、その他専門ドックのご相談、ご予約は総合健診センターで受付けています。



<https://www.meijohosp.jp/>



〒460-0001 名古屋市中区三の丸1丁目3番1号・TEL 052-201-5311・FAX 052-201-5318